

令和4年度入学生用カリキュラムマップ

【文学研究科 臨床心理学専攻】

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号													
					凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目													
					1. 知識・理解			2. 技能・表現			3. 思考・判断			4. 態度・志向性				
1-1	1-2	1-3	2-1	2-2	2-3	3-1	3-2	3-3	4-1	4-2	4-3							
22MPWP1301	課題研究Ⅰ	1	院生各自が選択する研究テーマと直接関係する研究指導を行う。	1. 研究課題に基づいて研究計画を決定する。 2. 研究倫理に関する基礎知識を身につける。 3. 文献をレビューして、基礎論文を完成させる。	◎	◎	◎	◎	◎	◎		○		○				
22MPWP2301	課題研究Ⅱ	2	院生各自が選択する研究テーマと直接関係する研究指導を行う。なお、この科目は、「課題研究Ⅰ」からの継続科目である。	1. 研究方法を確定し、研究倫理審査を受審する。 2. 中間報告会で発表を行う。	◎	◎	◎	◎	◎	◎		○		○				
22MPWP2302	課題研究Ⅲ	2	院生各自が選択する研究テーマと直接関係する研究指導を行う。なお、この科目は、「課題研究Ⅰ」および「課題研究Ⅱ」からの継続科目である。	1. 修士論文を完成させる。 2. 最終試験（口頭試問）を受けて履修便覧記載の審査項目の基準を満たすこと。	◎	◎	◎	◎	◎	◎		○		○				
22MPWP1202	臨床心理学特論Ⅰ	1	心の専門家になるために必要な心理臨床の実践および研究に関する倫理を学び、心の専門家が実際に直面する諸問題について検討する。そして、心の専門家として、心理臨床場面に相応しい基本的態度を身につけることを目標とする。	1. 心の専門家としての実践および研究に関する倫理的態度を身につける。 2. 実際のケースを取り上げて、職業倫理や研究倫理の視点から検討し、適切な対応ができる力を身につける。	○	○	◎					○	○					
22MPWP1203	臨床心理学特論Ⅱ	1	代表的な心理療法およびカウンセリングの理論や技法を学び、それらを応用できる能力を養成することを目指す。	1. 代表的な心理療法およびカウンセリングの歴史、概念、意義、適応についての知識を身につける。 2. カウンセリングにおける基本的な理論と技法を身につけ、実践できる。	○		◎					○	○					
22MPWP1204	臨床心理学特論Ⅲ（心理的アセスメントに関する理論と実践）	1	公認心理師および臨床心理士の心理実務者として、心理的アセスメントに関する倫理的配慮について理解し、理論と実施法、解釈法を学び、実際に心理的アセスメントを実践できることを目的とする。また、結果の伝え方や結果に基づく心理支援を行えるようになることも目的としている。	1. 公認心理師および臨床心理士の実践における心理的アセスメントの意義を理解する。 2. 心理的アセスメントに関する理論と方法を身につける。 3. 上記1および2から心理に関する相談、助言、指導等ができる能力を身につける。 4. 各検査の結果の解釈法を学び、結果に示された内容を理解する。	○	○	○	◎				○	○	○		○		
22MPWP1205	臨床心理査定特論Ⅱ	1	臨床心理査定の理論と実際について基本的な理解を身につける。人格検査の心理査定を理解するには、たんに心理検査を理解するだけでなく、その背景となる人格理論を習得することが重要となるので、その学習も含まれる。「心理的アセスメントに関する理論と実践」で取り上げなかった心理検査の実施法や解釈法、所見作成を扱う。	1. 臨床心理査定に関する理論（その背景にある人格理論を含む）と実際について基本的な理解を身につける。 2. 心理検査（人格検査）を適切に実施して、結果を解釈し、所見を提出できる。 3. 心理臨床、教育、医療、福祉における心理査定の実際について知る。	○			◎		○	○	○		○		○		○

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号																
					凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目																
					1. 知識・理解			2. 技能・表現			3. 思考・判断			4. 態度・志向性							
					1-1	1-2	1-3	2-1	2-2	2-3	3-1	3-2	3-3	4-1	4-2	4-3					
22MPWP1215	心理学研究法特論	1	複雑かつ多様な人間の行動から人間のこころの働きを理解するために提案されてきた心理学における様々な研究方法に関する理解を深め、人間の行動を科学的に研究するために必要な基礎知識を身につける。	1. 様々な心理学的研究法に関する基礎知識を身につける。 2. 身につけた研究法に関する基礎知識を用いて、自ら課題を発見し、研究計画を行い、研究の問題点を指摘することができる。	○	○	○		◎			○									
22MPWP1216	臨床心理学研究法特論	1	臨床心理学の様々な研究法や、学術論文の形式について学ぶ。	1. 臨床心理学の研究法についての基本的な理解を身につける。 2. 修士論文の作成や研究活動を行う上での基礎的な知識、技能を習得する。 3. 臨床家にとって必要なケース報告やケース研究についても学ぶ。	○	○	◎		○	◎		○	○	○							
22MPWP1117	発達心理学特論	1	人の発達を心理学的にとらえる際の視点および方法が発達への評価や支援へ与える影響を研究例から理解することに加え、神経心理学の理論や研究法などの基礎的な学習の理解を深め、発達に関するアセスメント能力を身につける。	1. 発達の理論や基礎研究の成果を、研究および教育実践と関連づけて理解する力を身につける。 2. 神経発達障害群や神経認知障害群にみられる症状を、神経心理学的な立場から説明できる。 3. 講義の中で学んだことを自分の研究実践に応用する力を身につける。				◎		◎	○	○									
22MPWP1118	教育心理学特論	1	対人過程を起源とする様々な不適応行動のメカニズムを考えるために、教育心理学および社会心理学の基本概念や研究方法、研究の枠組みに関する理解を深めることを目的とする。	1. 教育心理学および社会心理学の主要理論と研究アプローチを理解する。 2. 実証科学としての心理学の基本的研究パラダイムを理解する。 3. 心理学の研究論文をベースに学術的論議が展開できるようになる。 4. 英語文献購読に習熟する。				○	◎		○	○									
22MPWP2306	投映法特論	2	心理臨床家にとって、投映法の習熟は被検者を個性記述的に理解する能力を身につけるために不可欠なものである。この科目では、各種投映法による心理アセスメントを実践できる技能を養成することを目指す。	1. ロールシャッハ法、描画法、文章完成法など各種投映法について、実施方法および解釈技法を身につける。 2. 実践的な心理アセスメント報告書が作成できる。	○			○	◎			○	○	○							
22MPWP2307	学校臨床心理学特論	2	学校現場における臨床心理学の諸理論を整理し、その有効性を実践的な視点から考える。単なるカウンセリング技法の習得だけではなく、多面的に考える姿勢を養うことを目的とする。	1. 「学校現場」や「学校にいる子ども」への理解を深める。 2. 実践を意識した援助について考える力を身につける。	○				◎				○								
22MPWP2308	心理学特論A	2	保健医療、福祉、教育、司法・犯罪、産業・労働領域において求められる心理支援に関する基礎知識を習得する。	1. 保健医療、福祉、教育、司法・犯罪、産業・労働領域において用いられる心理支援について理解し、説明ができる。 2. 保健医療、福祉、教育、司法犯罪、産業労働領域の心理支援に必要な制度に関する知識を身につける。	◎	○	○						○	○	○						
22MPWP2309	心理学特論B	2	心理支援に関する基礎知識を応用し、保健医療、福祉、教育、司法・犯罪、産業・労働領域において心理支援者が行うべき支援方法を、事例から理解し、実践できる能力を養成する。	1. 保健医療、福祉、教育、司法・犯罪、産業・労働領域の事例を心理的支援に関する専門的知識から理解できる。	◎	○	○		○			○	○	○							

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号											
					凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目											
					1. 知識・理解			2. 技能・表現			3. 思考・判断			4. 態度・志向性		
					1-1	1-2	1-3	2-1	2-2	2-3	3-1	3-2	3-3	4-1	4-2	4-3
22MPWP1319	心理実践実習(学内) I	1	学内実習施設で継続的にケースを担当することにより、①援助的関係構築能力、②臨床的アセスメント能力、③援助的介入能力を養成する。	1. インテークに陪席し、インテークの取り方、まとめ方、報告の仕方を身につける。 2. 発達検査・知能検査、その他の心理検査の実施・報告書の作成・フィードバックについて、実習を通じて身につける。 3. カウンセリング、プレイ・セラピー、SSTや療育など、ケースに応じた介入方法を選択し、実施することができる。 4. 継続的に複数のケースを担当することを通して、援助的関係構築能力を習得する。 5. ケースを担当することにより、守秘義務や必要な倫理等について体験的に身につける。 6. ケース検討会での討議を通して、幅広い視点からケースを担当できる力を身につける。	○	○	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
22MPWP1320	心理実践実習(学外) I	1	学外の施設などの職務内容を理解するとともに施設職員との関わりを通じて、職務領域の選択ならびに自己の適性を理解する。また、各専門領域についての研究能力、実践能力および学習意欲の向上を育成することを目的とする。 なお、実習期間中、実習担当教員による巡回指導等を行うことにより、学外施設と大学院が連携して上記目的の達成を図ることとする。	1. 学外施設での職務内容の理解および継続的にケース担当ができる力を身につける。 2. 学外施設での職務内容について、見学・陪席等を通じて理解し、記録・報告の仕方を身につける。 3. ケースに関する連絡・引き継ぎや、ケース検討会での討議を通して、多職種連携および地域連携、地域支援の在り方に関する臨床技能を身につけ、クライアントへのチームアプローチができるようになる。	○	○	○	○	○	○	○	◎	◎	◎		
22MPWP2310	心理実践実習(学内) II B	2	学内実習施設で継続的にケースを担当することにより、①援助的関係構築能力、②臨床的アセスメント能力、③援助的介入能力を養成する。	1. インテークに陪席し、インテークの取り方、まとめ方、報告の仕方を身につける。 2. 発達検査・知能検査、その他の心理検査の実施・報告書の作成・フィードバックについて、実習を通じて身につける。 3. カウンセリング、プレイ・セラピー、SSTや療育など、ケースに応じた介入方法を選択し、実施することができる。 4. 継続的に複数のケースを担当することを通して、援助的関係構築能力を習得する。 5. ケースを担当することにより、守秘義務や必要な倫理等について体験的に身につける。 6. ケース検討会での討議を通して、幅広い視点からケースを担当できる力を身につける。	○	○	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎		
22MPWP2311	心理実践実習(学外) II	2	学外の施設などの職務内容を理解するとともに施設職員との関わりを通じて、職務領域の選択ならびに自己の適性を理解する。また、各専門領域についての研究能力、実践能力および学習意欲の向上を育成することを目的とする。 なお、実習期間中、実習担当教員による巡回指導等を行うことにより、学外施設と大学院が連携して上記目的の達成を図ることとする。	1. 学外施設での職務内容の理解および継続的にケース担当ができる力を身につける。 2. 学外施設での職務内容について、見学・陪席等を通じて理解し、記録・報告の仕方を身につける。 3. ケースに関する連絡・引き継ぎや、ケース検討会での討議を通して、多職種連携および地域連携、地域支援の在り方に関する臨床技能を身につけ、クライアントへのチームアプローチができるようになる。	○	○	○	○	○	○	○	◎	◎	◎		
22MPWP1321	心理実践実習指導(学内) I	1	学内実習施設において、実習を適切かつ有効に行えるように、事前指導や事後指導などを行い、公認心理師としての責任感や技量を身につける。	1. 公認心理師に必要な実践力を習得する。 2. 公認心理師として各分野で活躍できる実力を身につける。				○	○	◎	◎	◎	○	○	○	

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号													
					凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目													
					1. 知識・理解			2. 技能・表現			3. 思考・判断			4. 態度・志向性				
					1-1	1-2	1-3	2-1	2-2	2-3	3-1	3-2	3-3	4-1	4-2	4-3		
22MPWP1322	心理実践実習指導(学外)Ⅰ	1	学外実習施設において、実習を適切かつ有効に行えるように、事前指導や事後指導などを行い、公認心理師としての責任感や技量を身につける。	1. 公認心理師に必要な実践力を習得する。 2. 公認心理師として各分野で活躍できる実力を身につける。	○	○	○					○	○	○	◎	◎	◎	
22MPWP2312	心理実践実習指導(学内)Ⅱ	2	学内実習施設において、実習を適切かつ有効に行えるように、事前指導や事後指導などを行い、公認心理師としての責任感や技量を身につける。	1. 公認心理師に必要な実践力を習得する。 2. 公認心理師として各分野で活躍できる実力を身につける。				○	○	◎	◎	◎	○	○	○			
22MPWP2313	心理実践実習指導(学外)Ⅱ	2	学外実習施設において、実習を適切かつ有効に行えるように、事前指導や事後指導などを行い、公認心理師としての責任感や技量を身につける。	1. 公認心理師に必要な実践力を習得する。 2. 公認心理師として各分野で活躍できる実力を身につける。	○	○	○					○	○	○	◎	◎	◎	